

研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師：

中邨智之 先生

関西医科大学・薬理学講座 教授

講演タイトル：

「生体の伸縮性を生み出すしくみ

～細胞外マトリックス組み立てツール分子の発見～」

概要：

肺や血管、皮膚などの組織には弾性線維という伸び縮みする細胞外マトリックスが多くあり、組織の伸縮性を担っている。弾性線維は再生することはほとんどなく、加齢に伴って肺気腫、動脈中膜硬化、皮膚のたるみなどを来す。弾性線維の主要な構成成分であるエラスチンがどのように組み立てられて弾性線維になるのか、その機構はよくわかっていなかった。

演者は偶然クローニングしたFibulin-5という分泌タンパク質が弾性線維形成に必須であることを見だし、これを切り口にいくつかの分泌タンパク質がエラスチンを「線維状に並べる」「架橋する」ことにより弾性線維を組み立てる仕組みを明らかにしてきた。セミナーではこれら「組み立てツール分子」がどのように弾性線維を作るのかをオーバービューするとともに、弾性線維再生薬の可能性についても論じる。

日時：

令和5年8月3日(木)

16:00から

場所：

研究所6階 会議室

問い合わせ：研究所 藤木 内線5402